

令和5年市長と語る！ふれあいミーティング

会場：第二区地区行政センター

日時：令和5年5月18日（木）午後7時～

《会場での主なご意見等》

【ご意見①】

第二区地区についても飯能市乗合ワゴンの検討をいただきたい。また、現在は廃止されているが、以前、市のバスをお借りして地域のお年寄りをお誘いし、クリーンセンターや博物館等の見学を開催して大変喜んでいただいた。以前のような乗合バスを市で準備していただきたい。

【回答】

バス対策につきましては、幹線から中に入った地区について、どのようにしたらカバーできるか、路線バスに加え、地区に入っていけるワゴンなど、どのような制度、方法が良いのか、皆さんと一緒に地域の声を聞きながら進めていきたいと考えております。また、以前、市の方で福祉センターのバスを配車しておりましたが、これも利用者数の関係から採算性が取れないということで廃止をさせていただきました。

【ご意見②】

飯能市の活性化をみるならば、中心市街地の発展があってその余韻も必要かと思う。そういう点で、懸案事項の久下六道線について動き始め、大変喜ばしい。質問になるのか苦言になるのか、中心市街地に国際興業バスのターミナル(車庫)がある。その場所を市街地から外に移転してもらうよう見直してもらいたい。大きな魅力、中心市街地の発展の要になると思う。

【回答】

国際興業バスの現行路線のルートの組み立て方では、どうしても現在の場所が起点になるということです。数年前に移転についてもお話をしたことがございますが、現在の場所で営業するということがございます。また、街中にあのような広い用地があることは、災害など有事の際には、いい面もあると思いますのでまちづくりビジョンの中でもしっかりと検討していきたいと考えております。

【ご意見③】

地区の活性化ということで、飯能第二小学校を残したいという強い思いのある中、飯能第二小学校が小規模特認校になったことに感謝している。
第二区は自然が豊富であり、人と人との触れ合いもあり、素晴らしい地域である。学校と繋がりを持ちながら、地域一体となって、子育て、教育などに取り組もうということについて、地区の有志で行動を起こしていこうとしている。これから色々な面で、相談と言うか、行政と一緒にやっていきたいと強く思っている。
その中で、学校と地域が協働でやるということが世の中、全般的にあるかと思いますが学校と地域がどうやって協働してやっていくのか、将来的にいい形なのかというところを行政がもう少し具体的にこうあったらいいという思いがありましたら教えて

いただきたい。また、若い人たちが、この地区に住みたいということも聞いている。しかし、市街化調整区域であり、なかなか難しい。市街化調整区域の緩和など、どのように考えているのかお聞きしたい。

【回答】

学校と地域の繋がりということですが、理想的なまちづくりだと思います。それを実現するには多少時間がかかると思います。話し合いから始まり、子どもを地域で育てる或いは学校も一体となって取り組んでいくことが必要だと思います。また、そのような機会があれば市の方にお話をいただき、市の方で出向いたり、また逆に市の方でこうしたいという時は地元の方へお声がけさせていただきますので一緒に取り組んでいければと考えております。

市街化調整区域の見直しにつきましては、現在の制度からいうと都市計画法の線引きの見直しは厳しいと思います。

【ご意見④】

飯能第二小学校が１５０周年を迎えるということで大変喜ばしいことだと思う。その中で、第二小学校に限ったことではないが、今までの歴史の中において、学校教育の教科書や教材等が色々使われてきたが、教材教具が残っていないということを知っている。廃棄することはやむを得ないと思うが、教材、教具というものを残して、学校に市民に開かれた展示室を作っていく。これが地域の財産としてレガシーになるのではないかな。また、地域の教育力が落ちたと感じている。学校の人的なスタッフを増やす方向でお願いしたい。ＩＣＴなどは必要かもしれないが、子どもたちにとって人間的な触れ合いが、一番教育には大事だと思う。

【回答】

今までの歴史が分かるような資料、教科書を含めて資料を保管、保全をということですが、大変重要なことだと思います。今まで地区の歴史を物語るような資料があれば、それを掘り出して、例えば、地域で博物館ではありませんが、そういうものを地域でつくって、皆さんにご覧いただく。歴史を味わっていただくようなことも必要であると考えております。

【ご意見⑤】

飯能市は７０％以上が山である。飯能駅から、直ぐ近くに山がある。また、飯能アルプスと並ぶように西武鉄道が走っている。飯能アルプスについて、実力や体力に合わせて途中でやめても電車で帰ることができる。しかし、飯能アルプスは、木が育ってしまい、眺望がない。眺望をつくろうとしても所有者が分からない、手が出せない状況。また、伊豆ヶ岳は鎖場が有名で、飯能市でも有名な山であった。しかし今はルートの使用が禁止になっている。逆にきちんと鎖場を整備して観光客を呼ぶとかそういう取組ができたらいと思う。山を生かした観光をどのように考えているのかお聞きしたい。

【回答】

素晴らしい提案をありがとうございます。観光振興につきましては、公共交通機関、事業主との協議をするなど取り組んでおります。鎖場の再整備等色々なご提案があり

ましたが、改めて取り組んでいきたいと思います。都心から1時間足らずで来られるという立地としたら最高である一方、逆を言えば1時間で帰られてしまいます。その辺につきましては、飯能の良さをしっかりPRしていければと思っております。